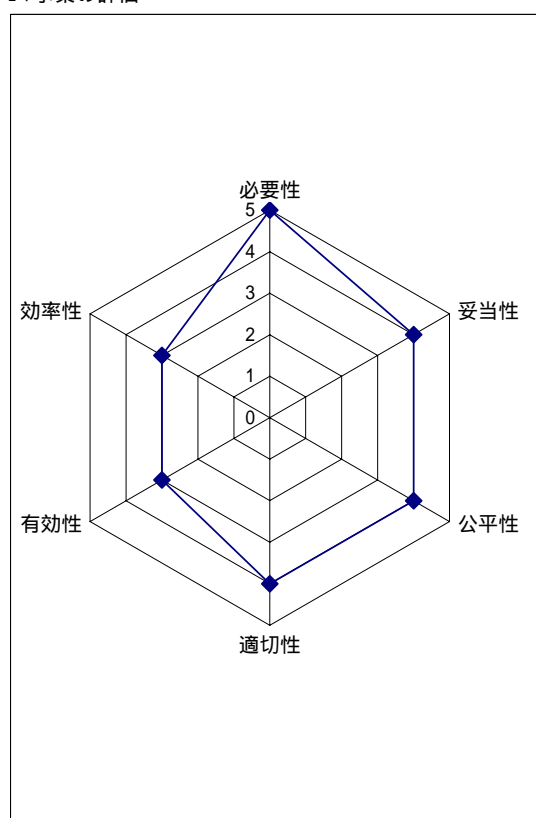


事務事業名	農業集落排水江川南地区建設事業	担当部局	市長部局 産業経済部
基本目標	美しいゆとりある快適環境と景観づくり(環境・都市基盤)	担当課名	耕地課
施策体系	安全で快適な暮らしづくり(下水道整備)	担当係名	土地改良係
施策	農業集落排水事業を推進する		

1. 事業内容

事業本来の目的と具体的内容	用排水の水質保全・施設の機能維持並びに農村の生活環境の改善を図り、併せて、公共用水域の水質保全に寄与する。		
事業の期間(開始/終了)	平成15年 4月/	平成23年 3月	
根拠法令、条例、規則など	農業集落排水事業実施要綱 地域再生法		
事業が対象としている人(モノ)	受益者戸数(公共施設を含む)		
具体的な活動内容	推進協議会を開催した。		
	工事説明会を開催した。		
	広報活動を行った。		
	工事を発注し、施工管理を行った。		
事業の成果	推進協議会を開催することにより、事業内容の周知及び推進することができた。		
	事業に対する理解を得て、円滑に工事することができた。		
	地権者の要望にあった農業集落排水事業ができた。		

2. 事業の評価



項目	説明
必要性	5 ますます必要性は高くなっている 当地区の農業集落では、汚れた用水が農作物に被害を与えたり、悪臭を発生したりして、農村の水環境に悪影響を与えています。このような状況のため、自然環境の保全や農業用排水の水質保全、さらに農村環境の改善を図るため、必要性は高いと考えられます。
	4 法的な問題などがあり、行政が行うべき事業である 事業主体は都道府県、市町村、土地改良区や農業協同組合などの農業者の組織する団体になることができますが、農業集落排水施設の公共的役割、建設費や維持管理に係る地方財政措置等の観点から、本市が関与しなければならないと考えられます。
公平性	4 目的とした対象者に対しては、概ね広く便益を提供している 事業の要件としての事業規模が満足しており、対象者に対しては要望があったとおり便益を提供している。しかし、反対者は便益を受けることができないので、事業の内容を把握してもらい理解を得ることが必要である。
	4 現在のやり方(手段)が一般的であり、特に問題はない 行政主導で事業を進めていくのではなく、推進協議会を主体に進めていき、行政しかできない部分は行政で行なうといったやり方で進めているので特に問題はないと考えられます。
有効性	3 どちらとも言えない 地元からの要望が高く、事業を進めてきたことから、概ね事業の目的は達成しているといえる。しかし、供用開始に向けて計画どおり事業を進めている段階であるが、補助金が計画どおりつかないため事業の目的の観点からいってどちらともいえない。
	3 どちらとも言えない 事業対象者に理解を得ることに重要性をおいているため、協議会や説明会、並びに個別訪問が多くなると予想されるため、コスト効率、人員効率が高いとも低いともいえない。

総合評価	農村の生活環境の改善を目的としており、事業に参加できない人が多いと本来の目的が達成できないので、いかに未同意者に参加してもらうのが今後の課題である。
------	--

3. 今後の事業の方向性

所属長判断	事業の方向性判断	短期的方向	維持継続	中長期的方向	維持継続
	説明	用排水の水質保全、施設の機能維持並びに農村の生活環境の改善を図り、あわせて公共用水域の水質保全に寄与することにより、生産性の高い農業の実現と活力ある農村社会の形成に資することができる。よって本事業は、維持継続することにより成果の向上を図る。			
決定権者判断	決定内容	維持継続			
	説明	工事手法等を工夫してコスト縮減に配慮しながら、事業を推進し目標達成する。			